

大阪母子保健研究ベースラインデータの結果 能動喫煙、受動喫煙と血清総 IgE 値との関連

背景：これまで多くの疫学研究で、喫煙が血清総 IgE 値上昇と関連していることが報告されています。一方、受動喫煙と血清総 IgE 値との関連については、報告がほとんどありません。

方法：大阪母子保健研究のベースライン調査に参加し、血液データの得られた 981 名を対象としました。血清総 IgE 値で 170IU/ml 以上を血清総 IgE 値の高値群と定義しました。年齢、ベースライン調査時妊娠週、子数、喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎の家族歴、屋内のペット、家計の年収、教育歴、寝具のダニ抗原量を交絡因子として補正しました。

結果：1日15本以上喫煙している妊婦では、血清総 IgE 値高値の有症率が有意に高くなりました。また累積喫煙状況で見ると、ブリンクマン指数の160本一年以上の喫煙で血清総 IgE 値が高くなりました。特に、アレルギーの家族歴のある妊婦さんで、総 IgE 値が高い値となりました。非喫煙者において(682名)、受動喫煙と総 IgE 値との関連を調べましたが、有意な関連は認めませんでした。

結論：日本人においても喫煙と総 IgE 値高値との関連を確認することができました。しかしながら、受動喫煙との関連は認めませんでした。

喫煙状況	170IU/ml 以上の有症率 (%)	補正オッズ比 (95%信頼区間)	補正平均値(IU/ml) (95%信頼区間)
非喫煙	181/682 (26.5)	1.00	63.8 (56.8-71.8)
過去喫煙	31/117 (26.5)	1.05 (0.66-1.65)	60.3 (45.5-79.9)
現在1日15本未満	21/81 (25.9)	0.96 (0.55-1.63)	56.9 (40.6-79.8)
現在1日15本以上	51/101 (50.5)	3.40 (2.12-5.47)	132.3 (96.5-181.4)
傾向性 P値		< 0.0001	0.003

出典： Miyake Y, Miyamoto S, Ohya Y, Sasaki S, Matsunaga I, Yoshida T, Hirota Y, Oda H, The Osaka Maternal and Child Health Study Group. Relationship between active and passive smoking and total serum IgE levels in Japanese women: baseline data from the Osaka Maternal and Child Health Study. Int Arch Allergy Immunol. 2004; 135: 221-228.